

第七回全國幼稚園關係者大會

仙臺市保育會

五二

時 昭和十四年十月七日(土) 八日(日)

所 仙臺市東二番丁尋常小學校講堂

來會者 南は臺灣より北は青森に至り遠くは南洋

關東州に及び全国各地幼稚園關係者五百餘名。

仙臺市長

7、閉式の辭

挨拶

第一日 (十月七日午前九時開始)

開會式

- 1、開式の辭
- 2、遙拜並默禱
- 3、國歌齊唱
- 4、勅語奉讀
- 5、會長挨拶—仙臺市保育會長
- 6、祝 辭

文部大臣祝辭

宮城縣知事

今回當市に於て第七回全國幼稚園關係者大會を開催致しました所北は青森より南は遠く南洋に亙り多數御出席を得ました上來賓各位の御臨席を辱う致しましたことは本會の欣幸とし且光榮を致しまして深く感謝の意を表するものであります。

願れば本會は回を累ぬるこそ茲に七回本邦幼兒教育の向上發展に資し國運の隆昌に寄與し來つたことは洵に御同慶に堪へない所であります。

抑々我國幼稚園教育の濫觴は明治九年の事に屬し爾來六

十有四年時代の進運に伴ひ堅實なる發達を遂げ今や幼稚園令の實施を見るに至つて全國各地に於ける其の設備内容等昔日に比して殆んど隔世の感があるのでありますけれども之を現代社會の實狀に照らし東亞新秩序建設の前途に顧み之に即應せんとする幼児教育に尙幾多の改善を研究を要するもの彌々切なるものがあるのであります此の秋に際し本大會の開催を見るに至りましたことは蓋し其の意義極めて深いものがあることを思はなければなりません。

冀くは御出席の各位宜しく其の使命の重大なるに鑿みられ保育の本質に立つて之が徹底を期するやう御提出になりました各種の重要議題に就き慎重審議熱心研究を遂げ有功適切なる結論を得て以て我國幼児教育に貢獻し時局に處して教育報國に邁進せらるゝ様切望して止まないものであります茲に開會に當り所懐の一端を陳べて御挨拶を致します。

昭和十四年十月七日

第七回全國幼稚園關係者大會會長

澁谷徳三郎

祝辭

本日茲に第七回全國幼稚園關係者大會を開催せらるゝ、惟ふに幼少時に於ける心身發育の狀態は人の一生を支配し將

來の大成の上に極めて重大なる關係を有するものにして幼稚園教育の重要性實に此に在りと言ふべし。而して幼児の精神は恰も白紙の如く感善染汚共に頗る敏感にしてこれが環境に影響せらるるところ眞に大なり之斯教育の至難にして綿密慎重なる用意を必要とする所以なり。

冀はくは各位大いに抱負を經驗を披瀝して遺憾なく本大會の成果を擧げ教育振興の一翼を負擔して以て興亞國力の根基に培ふあらむことを一言所感を述べて祝辭をなす。

昭和十四年十月七日

文部大臣 河原田稼吉

祝辭

本日茲に第七回全國幼稚園關係者大會を開催せらるゝに當り一言祝辭を述ぶるの機會を得たるは余の最も欣幸する所なり。

顧るに幼稚園に關する制度は大正十五年の勅令を以て公布せられ幼稚園教育は本邦教育史上比較的較近の發達に係るものなり而も其の設置は之を希望者の任意となしたるにも拘らず最近に至りて著しく其の普及發達を見たるは是偏に關係者各位の多年斯教育に對する關心と熱意の賜物にして洵に慶賀に堪へざる所なり。

祝辭

第七回全國幼稚園關係者大會を當市に開催せられ出席會員五百餘名全國各地を網羅するの盛會を見るに至りましたことは斯道の爲洵に慶賀に堪へないものがあると共に本市の深く光榮する所であります。

惟ふに我國幼稚園教育の實施は遠く明治初年に溯り輓近顯著なる發達を示し來つたことではありますが之を先進諸國に比すれば諸般の施設經營に猶幾多改善を要すべきものがあるのであります此の時に當り我國斯界の權威竝に實際家を一堂に會して互に胸襟を披き各種重要案件に就き各自の蘊蓄を傾け其の所見を交換し研究討議を加へられますことは保育振興上貢獻する所必ずや多大なるものあるを信ずるものであります希くは各位慎重審議を盡くされ以て本會の使命を全うせらるゝ様切望に堪へない次第であります。

惟ふに幼稚園教育は家庭教育を裨補すべき使命を目的とするや論を俟たず而して最近の趨勢は兒童をして健全なる發達を遂げしめ善良なる性情を涵養せしめんには先づ幼時より之に着手するを優れりこなし斯教育の普及發達が一層強調せられ幼稚園は兒童就學以前の教育機關として最も重要な地位を占むるに至れり歐米諸國に於ても何れも重大なる關心を有し各獨自の立場に於て全力を傾注しつゝある所なり更に我が國幼稚園の現狀は將來尙一層の研究と努力とを要する餘地あるを認むるの秋に當り本邦幼稚園の普及向上の上に幾多の功績を印したる本會の如き有力なる團體が非常時に即應する切實なる保育問題に付研究討議せらるゝは將來斯教育の改善發展上最も甚大なる推進力となるや言を俟たざる所なり實に幼兒保育の完全を期するは次代國民たるの素質を向上せしめ且銃後の護を一層強固ならしむる所以にして現下の時局に鑑み極めて緊要なることなり。

今や時局は重大にして益々人的資源の多種豊富を要望せらるゝの秋各位は愈々責務の重大なるを自覺せられ幼兒保育の完璧を期し以て大國民たるの基礎培養に邁進せられんことを一言冀望を述べて祝辭とす。

昭和十四年十月七日

宮城縣知事 清水良策

本大會に際し當市に於きましては御出席の各位に對し折角の御來會にも拘らず何等設備のないことは洵に遺憾でありますが藩祖伊達政宗卿の遺風を偲べれ東北振興の中心都市として躍進途上にある本市の交通、産業の現狀竝に學都としての教育一班を始め日本三景の一たる近郊松島の絶景及市の内外に散在する遺跡名勝等の御視察を賜はることを得ますれば最幸甚とする所であります。

茲に本大會の開會に當り其の成功を祈り併せて歓迎の誠意を披瀝致しまして一言祝辭を致します。

昭和十四年十月七日

仙臺市長 澁谷徳三郎

右了つて仙臺市保育會長代理として高橋市助役、假に議長席につき、本大會の司會者たる議長推薦の議を提言すれば全員一致、仙臺市保育會長を指名推舉する事となり、即ち高橋市助役は澁谷會長の代理として議長席につく。暫時休憩 午前十時再開

報告—第六回全國幼稚園關係者大會

二二五番(大阪 藤本ツギ)

第六回全國幼稚園關係者大會は昭和六年大阪市で開催されたのであつたが、文部省諮問案については取纏めて提出・建議案の中可決したものはそれ／＼書類提出と共に促進運動の爲、大阪市のものが三名上京、時の松田文相に陳情致しました。

協議題や談話題等も處理致してあります。

次回開催地については仙臺市と決定致して散會したのであります。——(大要——)

緊急動議

四四番(東京 田島眞治)

1、宣言 決議の件

本大會に於て吾々の重大使命を宣言し、決意を議決して世に

公表する事は最意義ある事と思ふが故に茲に宣言決議を議したい、その起案等は議長指名の委員附託とする事。

2、滿支派遣皇軍將兵に對し感謝電報發送の件

全国各地から集つたこの大會の名に於て出征皇軍將兵に感謝の電報を發したいのであるが、その方法手續等は本市役員に委嘱したい。

六五番(東京 竹内嘉兵衛)

澁谷仙臺市長病氣見舞の件

私は本大會開催に最深き理解と熱心をもつて御世話を下さつた本市の澁谷市長さんが御病氣中と聞いたが本會の決議によつて御見舞申上げたい。

その人員、方法、時機等は議長一任とする。

議長

只今の四四番並六五番の提出案を議題として差支ないかと許れば 異議なく成立

宣言決議案については 田島眞治氏外四名

感謝電報案については 内山憲尙氏外四名

澁谷市長見舞の件については竹内嘉兵衛氏外四名の委員附記並に代表者を決定した。

五八番(東京 土川五郎)

1、青葉神社並に護國神社代參の件

當地藩祖伊達政宗公を祀る青葉神社並に盡忠報國の英靈を祀る護國神社へ本會代表の參拜方を提議する。

2、第二師團及陸軍病院の訪問、慰問の件

滿洲事變以來今次事變に赫々たる武勳を樹てた第二師團及今回の戦役に於て名譽の戦傷病將士を御慰問する事は時局柄最時宜を得たものと思ふが故にこの案を提出するが、その方法、人選等は擧げて議長一任としたい。

議長

只今の動議に異議なきや

を諮れば満場拍手を以て一決、依つて

- 七番 (東京 青柳義智代) 二〇二番 (前橋 春山福之助)
 - 一五八番 (新潟 湯倉田 ミス) 一六八番 (富山 佐倉 シゲ)
 - 二〇一番 (岸和田 佐藤 満壽) 二六八番 (岡山 高原 寅)
 - 三六六番 (白石 酒井 規) 四二四番 (仙臺 齋藤重太郎)
 - 四八三番 (浦 和長沼 依山) 番外 (岩井)
- の十名を指名、直ちに出發する事となつた。

議長

これから日程によつて協議題を上程する事に致します。

二五六番

議事進行について申し上げますが、協議題一、二、三號案を一括上程されたい。

議長

今の發言に對し異議なきや

二〇番より趣旨異なる故を以て異議あつたが
 大多數の賛成により一括上程に決す。
 依つて議長は提案者の説明を求める。

協議事項

第一號議案 新東亞建設の國策に則り幼児教育を今後如何に進展せしむべきか、(堺市保育會)

二一五番(堺市 北山ナホ) 説明

第二號議案 興亞保育の日滿支提携並進展策に關する件(東京市中野區佛教保育協會)

二〇番 (東京 高木亮範) 説明

第三號議案 戦死傷者遺族及家族の幼児保育上に於て注意すべき點に關する件(東京市中野區佛教保育協會)

七番 (東京 青柳義智代) 説明

議長 質問はありませんか、なければ意見の發表を願ひます。

二三一番 (大阪 牛島トメヨ)

七四番 (東京 高崎 能樹)

四一番 (東京 加藤 武夫)

の意見の發表があつたが

二五一番 (神戸 安井八十二)

この問題は重大であるが時間も大分經過してゐるので、委員附託とし慎重審議されたい。

委員の數、氏名は議長に一任する。

議長 二五一番の動議があるが如何に取扱ふか

と諮る、満場異議なく動議成立、委員附託に決す。委員指名を後刻に廻し、第四號案を上程。

第四號議案

青少年學徒に賜りたる勅語の聖旨を奉體して幼稚園教育を振興刷新せしむる具體的方案如何。(岡山市立幼稚園)

二六八番 (岡山 高原寅) 説明

議長 この問題は委員附託として具體案を練つては如何。

満場異議なく、委員附託に決定。

議長 第五號議案は提出者から撤回となつたので、第六號議案を上程致します。

第六號議案

幼稚園教育の重要性を理解せしむべき方案如何。

(東京市保育會)

五二番 (東京 齋藤小靜) 説明

議長 質問がないやうであるから意見發表を願ひます。

四一番 (東京、加藤 武夫)

二八九番 (長崎、荒木 嘉弘)

七四番 (東京、高崎 能樹)

から交々意見の發表があつたが

二〇番 (東京 高木亮範) から委員附託の動議があつた。

議長 二〇番の動議に異議ないか

と諮り、異議なく、動議成立、後刻委員を委嘱する事に決す。

議長 第七號議案を上程致します。

第七號議案

全國聯合保育會常設に關する件(仙臺市保育會)

三七七番 (仙臺 石川一壽) 説明

本大會は、第七回となつてゐるがその母體は其の都度勸誘して纏まる程度で常設的のものがないのは遺憾である。従つて建議も協議も其の効果が薄い。依つて常設的に本會を組織さ

りたい。

然し乍ら、これが實現は甚だ困難を伴ふが故に先づ以て東京

市に其の組織の斡旋を願ひたい。

かやうな意味で協議を進めたいと思ふ。

議長 御意見を伺ひます。

二〇番 (東京 高木亮範)

只今の提案には賛成である、速かに

1、有機的・恒久的の會に組織されたい。

2、東亞の指導性からして完全に提携すること。

3、建議や協議の實現をはかる上からも必要である然しながら

提案者説明の中に東京方面に斡旋を頼むといふが、全國から

集まつて相談するやうに望む。

二七六番 (東京 松岡唯介)

1、紀元二千六百年の記念事業として本會を組織したい。

2、全國の有識者により完全なるものを作りたい。

3、總裁には高貴の方を仰ぎ幹部には有力なる方々を網羅され

たい。

一番 (東京 内山 憲尙)

幸ひに今回は全國から集つてゐるのであるから茲で委員を選

び今明日中に大體の腹案を作つては如何。

議長

種々の御意見はあるが、東京を中心とし今回の主催地、次回

主催地、其の他と協議して、健全なものとしては如何。

三二番 (東京 和田 實)

重大なるものなるが故に現在の出席者を中心とし全團的に大綱を申合せておいた方がよいと思ふ。

三二七番 (福島 田代 文彌)

設立には異議はない、東京市に草案を委嘱しては如何。

議長 設立準備委員を擧げて、この問題を處理しては如何。

二二二番 (大阪 畦向地榮太郎)

東京を中心として準備せられよ

七四番 (東京 高崎能樹)

議長と倉橋先生と相談の上委員を選定されたい。

二〇番 (東京 高木亮範) 採決せられたい。

議長 準備委員を設ける事とし其の數や氏名は議長に一任されたい。

異議なく決す。

議長 協議事項は一應終了したので其の結末として委員を指名致します。

協議案 第一、二、三號議案

一番 外一四名

同 第四號議案

一〇番 外一四名

同 第六號議案

三二番 外一四名

同 第七號議案

三二番 外二二名

以上各號議案に地元から番外一名づゝを加へます。

右終つて 次回大會の會場の協議に入り、關西保育會の安井八十二氏立つて、皇紀二千六百年を記念し、關西保育會主催、期日は明年五月下旬若しくは六月上旬、場所は聖地、檀原に於て開催のことに御讃同を得たいと感激の挨拶があり、拍手裡に決定した。

午前部を終るや仙臺市保育會は市立幼稚園創立當初からの保母で五十年の歲月、幼児教育に其の一生を捧げた功勞者橋本よしぢ女史の表彰式を擧行した。

女史は齡八十にして猶健在、先年其の職を退き家庭にあり、たゞくしい足ざりを若い保母に手を引かれ、會長から表彰状を受くれば五百會員の視線は一齊に注ぎ込む。日本で第二位の古い歴史を有する仙臺市東二番丁幼稚園の育ての母で、女史が力ある音聲で謝辭を述べれば會衆の中には感激の嗚咽さへ聞えた。

式 辭

第七回全國幼稚園關係者大會を機とし茲に幼稚園功勞者表彰式を擧行するに當り多數來賓各位の御參列を賜はり一段の光彩を添へられましたことは本會の深く光榮とし感謝致す所であります。

只今表彰せられました橋本よしぢ女史には本市に幼稚園を創立致しました當初より五十三年の久しきに亙り獻身保

育の實際に力を效され獨り東二番丁幼稚園の爲のみならず
汎く本市並縣下幼稚園事業振興の爲寄與せられました御功
勞は極めて顯著なるものがあつたのであります。女史が斯
かる長年月の間膝下に愛育訓陶せられました數千の教兒は
今や何れも有用の材となり國家の進運に貢獻して居るので
あります。是を以て各種の表彰又は感謝を受けられました
こゝは枚擧に遑ない程であつて全く全國稀に見る幼兒教育
の功勞者であられるのであります。

女史が生涯の殆んゞ凡てを常に彼の殉教者に於て初めて
見らるゝやうな愛と熱を以て終始一貫聖職に全身全靈を
捧げられました其の崇高な御人格と甚大なる御功績とに對
して吾人の敬慕と感謝とを禁ずることが出来ないものであり
まして今回の表彰の榮譽を膺はれ永遠に我保育史上に令名
を貽されましたことは洵に慶祝に堪へない所であります。

惟ふに幼稚園教育の前途には尙改善と努力を要するも
のが多々あるのであります。女史今や功成り名遂げ悠々自
適の境地にあられましても更に一層御自愛に相成り多年の
蘊蓄と體驗とを以て將來斯道發展の爲に後進を啓發誘導せ
られます様切に冀ふものであります。茲に一言を述べ滿腔
の謝意と祝意とを表して式辭と致します。

昭和十四年十月七日

仙臺市保育會長 澁谷徳三郎

午後一時 再開

議長、建議案 第一號議案を上程致します。

第一號議案

保母養成機關を道府縣に必ず設置せらるゝ様其の筋に

建議するの件(東京市保育會)

四四番 (東京 田島眞治) 説明

議長 御意見をうかがひます。

二七六番 (東京 松岡唯介)

「必ず」といふ事を緩和しては如何、卒業生の消化問題もある
事であるから「道府縣の實狀に照して」といふやうにしたらよ
いと思ふ。

四四番 (東京 田島眞治)

消化の困難等は考へやうによつて解消する問題である。

二二二番 (大阪 向畦地榮太郎)

趣意には賛成である、特に幼稚園の教育の義務制を前提とし
て必要と思ふ。

二五二番 (神戸 望月 クニ)

實狀を考へて見ると私の縣(兵庫)では數年前までは志望が少
かつたが最近は多くなつてゐる、本問題は時宜に適したものと
と思ふ。

四八三番 (浦和 長沼依山)

幼兒教育の進展、均霑の上からこの要求は當然である。建議

は各府縣か、又は文部省へか？

四四番 其の筋とは文部省である。

議長 採決致します。

満場一致賛成、可決。

議長 建議第二號案を提案します。

第二號議案

幼兒教育の向上發展を期する爲め女子高等師範學校に保育科を設置せられんことを其の筋に建議するの件

(神戸市保育會)

二五二番 (神戸 望月 クニ) 説明

幼稚園教育の向上發展を阻害する原因は保姆の素質の低下によることが多い、依つてこの問題解決の爲に本問題を提出したものである。

議長 速決して如何ですか。

満場異議なく 可決。

第三號議案

男女各師範學校に幼稚園及託兒所を附設せらるゝ様其の筋に建議するの件(若手保育會)

三〇八番 (盛岡 四戸 熊藏) 説明

議長 異議はないか。

可決致しました。

第五號議案

認可せられたる幼稚園に對し相當なる補助金交付方請

願の件(東京私立幼稚園聯盟)

二一番 (東京 福田 てる) 説明

議長 賛成の聲があるが可決してよいか

異議なく可決す。

第四號議案

保姆資格認定中高等女學校卒業後二ヶ年以上實務に従事し成績優良者には當該園長の申請に依り無試験檢定資格を與ふる様關係大臣に本會の名を以て建議するの件(福岡縣若松市若松愛國幼稚園)

二八八番 (若松 有馬 驍) 説明

二二一番 (布施 河野 顯達)

この問題は考慮を要する、反對である。

二〇番 (東京、高木亮範) 反對

二七六番 (東京 松岡唯介) 反對

議長 採決致します。

反對者多く、否決す。

以上を以て打切り、東京女高師倉橋教授の講演があつて午後三時から四班に別れて市内見學、同六時、ブラザー軒の仙臺市長の招待會に臨んだ。

仙臺市長招待會

會場西洋料理ブラザー軒に殆んき全部の來會者を迎へ定

刻賑々しく開會が宣せられ、澁谷市長代理高橋助役の挨拶あり、之に對して久留島武彦氏一同を代表して謝辭を述べられたがユーモアに富む氏一流の巧妙なる挨拶振りにヤンヤミ喝采を博し早くも和かなる氣分堂に滿ち交驩はそれからそれへこ流れた。續いて小學兒童の詩吟にその妙なる韻律を愛で、「さんさしぐれ」「わしが國さ」の郷土舞踊に見惚れ、設けの會食に移つたが、テーブルスピーチが持ち上り、西村真琴氏の「さんさしぐれ」の禮讚、望月クニ氏の懷舊談に一段の盛況を添へた。最後に一同愛國行進曲を齊唱し十二分の歡を盡して午後八時閉會を告げた。

途中迷子にならぬやうにさの心遣ひから各旅館からの出迎者が門外に待ち受けて居つた。

第一一日（午前八時三十分開會）

議長 本日は先づ第一に昨日の委員附託の問題について

委員長の報告を願ひます。

四四番（東京 田島真治）

宣言

今次聖戰をして有終の美を濟さしむる所以のもの蓋し次代國民の教養より大なるはなし我等は深く思ひを茲に致し聖訓に恪遵して幼兒保育の根柢に培ひ健全なる人生の礎石を確立するに共に家庭を擁護し國力培養の素因をなして

保育報國の實を擧げ皇恩に答へ奉らむことを期す
右宣言す

決議

- 一、吾等は青少年學徒に賜りたる勅語の聖旨を奉戴して幼兒保育の重責を全うせんことを期す
- 一、吾等は時局に鑑み一層幼兒保育の重要性を認識し健全なる心身の發達善良なる性情涵養に萬遺憾なからんことを期す
- 一、吾等は時勢の進運に伴ひ修養研鑽之れ易め保育の真義を究め教育愛に徹し以て國民長養の實を擧げんことを期す

右決議す

昭和十四年十月七日

第七回全國幼稚園關係者大會

慎重審議右の通及報告候也

昭和十四年十月七日

委員	委員長
田島真治	四四
岩村安子	一四
小谷きみ	一五三
菅沼芳子	一七三
中根ゆた	二四二
海野八郎	二四三
山崎とき	二五三

協議題

委員	二九一	石原	ユキ
”	二九五	小山田	節子
”	番外	氏家	丑治郎

第一 新東亞建設の國策に則り幼兒教育を今後如何に進展せしむべきか

(堺市保育會提出)

- 一、健全なる精神の基礎陶冶に努むること
- 1、皇室尊敬神崇祖の念竝に之が作法を教ふること
- 2、適切なる方法により時局を認識せしむること
- 3、繪畫、談話、唱歌等により日滿支親和の性情を培ふこと
- 4、獨立自治の習慣態度を養ふことに勉むること
- 5、和親、協同の性情を涵養すること
- 6、快活、明朗なる性情育成につとむること
- 7、保育者は時局に對する認識を一層高むること
- 二、強健なる身體の育成に努むること
- 1、時々健康診断をなし發育狀況を認知し之に對する適切な處理を迅速に行ふこと
- 2、榮養食竝榮養劑を給與すること
- 3、偏食矯正に勉むること
- 4、毎月一回寄生蟲驅除を行ふこと
- 5、屋外生活の奨勵に努むること
- 6、齒磨、咀嚼の習慣を養ふこと
- 7、其の他衛生上の善良なる習慣を養ふこと

- 8、保育者の健康増進を圖ること
- 9、保育者をして幼兒衛生に關する知識竝看護の素質を有せしむること

第二 興亞保育の提携竝に進展策に關する件

(佛教保育協會提出)

- 一、日滿支保育事業關係者の會合を開催する機運を促進すること
- 二、日滿支保育に關する學說竝に教材の交換
- 三、滿支保育事業關係者の日本内地見學視察竝に留學の途を開くこと
- 四、保育事業關係者を滿支保育事業視察を兼ねたる親善使節として送る途を講ずること
- 五、日滿支幼稚園兒の製作品の交換をなすこと

第三 戰死傷者遺族及家族の幼兒保育上に於て注意すべき點如何

(佛教保育協會提出)

- 一、忠靈及戰傷者に對する敬虔感謝の念を養ふこと
- 二、戰死傷者出征の遺族及家族の園兒に對し適切な方法を講ずること
- 1、優偶の途を講ずること
- 2、その榮譽を自覺せしむること
- 三、幼稚園當事者は遺兒の母親との協力に努むること

右調査報告候也

昭和十四年十月七日

委員長	七四	高崎	能樹
委員	一	内山	憲尙

委員 七 青柳義智代

二〇 高木亮範

二八 水野世志

三六 山内勇仙

四一 加藤武夫

四五 藤谷聯三郎

一七四 鹽釜義詮

二一五 北山ナホ

二三一 牛島トメヨ

二五一 安井八十二

二五四 田中スエ

二七八 中村晃哉

四三六 山田光秀

協議題

第四號議案

青少年學徒に賜はりたる勅語の聖旨を奉體して幼稚園教育を振興刷新せしむる具體的方案如何

(岡山市立幼稚園提出)

一、保姆の人格育成に努むること

1 青少年學徒に賜はりたる勅語謄本の寫を幼稚園に奉戴する
こと

2 青少年學徒に賜はりたる勅語に對し保姆自ら深き感激を持つやうに苦心掛くること

二、保育内容の刷新をなすこと

① 皇國の幼兒たることを知らしむること

1、宮城を遙拜せしむること

2、國旗の尊嚴なることを知らしむること

3、神社を參拜せしめ敬神の念を養ふこと

4、談話等には成るべく話材を國史に求め國體を知らしむるやう努むること

5、五月二十二日勅語御下賜記念日には適切なる施設をなし實行すること

② 快活明朗にして強き性情を涵養するやう特に留意すること

1、成るべく依頼心を抑制し幼兒をして自ら動作するやう奨けること

2、服装携帯品等は質素を旨とし絶體に華美に流れしめざること

③ 特に團體的の規律を奨けるやう努むること

4、快活にして辛抱強く躰けること

④ 特に幼兒の健康保育に努むること

1、衛生設備を十分にし幼兒の養護上遺憾なきを期すること

2、特に傳染性疾患の豫防に萬全を期すること

3、幼兒に適切なる體育施設の徹底を期すること

4、晝食は成るべく榮養價大にして價廉なるものを共同給食せしむるやう施設をなし偏食の矯正等にも資すること

5、毎月御下賜當日を記念するため鍛鍊的遠足をなすこと

⑤ 時局に關心を持たしむること

1、保育項目は成るべく材料を時局に求め認識を深むるやう努むること

三、家庭に認識を深めしむること

1、記念日には母を参列せしむること

2、毎月一回母の會を開き聖旨の徹底を圖ること

右調査及報告候也

昭和十四年十月七日

委員長	三四八	高師廣吉
委員	一〇	新井歟太郎
	五二	齋藤小靜
	六五	竹内嘉兵衛
	六六	坂内ミツ
	七四	高崎能樹
	一一五	山口せ人
	一三〇	加藤カツ
	二三一	牛島トメヨ
	二六五	松平光
	二六八	高原寅
	二六九	大林孫治
	二七三	熊谷勝圓
	二八六	松村茂
	四八三	長沼依山
番外		木村元

協議題

第六 幼稚園教育の重要性を理解せしむべき方策如何 (東京市保育會提出)

右に關し委員會に於て審議決定せる事項左の如し

一、根本問題として幼稚園は先づ自ら戒めて各園の相剋を避け、保母の修養を高め、教育の効果を收むることに依つて如實に幼稚園教育の美しき効果を示現することが最も必要なりと思惟す、此根本的努力を傾注する外に尙左記の方法を採ること必要なり

二、當局者の理解を深からしむる方法

1、視學を置くこと

2、法令を改正すること

3、義務年限延長

4、學齡改正

5、設立者限定等

三、小學校教員の理解を深むること

1、擔任者會議

2、師範學校教育科の内容改善

3、尋常第一、二學年の教授改良

4、其擔任者考慮

四、一般家庭及社會に對する宣傳

講演會、ラヂオ、パンフレット、展覽會の方法に依つて行ふ其他保育講習會、新聞等を利用すること

尙本問題は全國的保育會の結成に依つて多大の良効果を收むるものあることを茲に附言す

右調査報告候也

昭和十四年十月七日

委員長 三二 和田 實
委員 五二 齋藤 小靜
五五 穂積 篤子
五八 土川 五郎
六八 及川 ふみ
八六 山田 仲子
一一一 山路 伊一郎
一二三 富 はま子
一二五 和田 信藏
一二二 望月 くに
二六四 迫田 まつ
二八一 瀬尾 完太
二九〇 高崎 吉人
三三五 松山 いね
三八一 那 須 靜
三八八 平野 已恵子
四七八 近衛 主賢

議長 これから研究發表を承る事と致します。

一、夏休中の幼児生活指導の一試案

東京市保育會 山 村 きよ氏

二、大阪市幼稚園保育方針に就て

大阪市保育會 榎 本 琴氏

三、和音感訓練と幼児の生活について

堺市保育會 佐藤 吉五 郎氏

四、幼児生活に適當なる敷地と迎送車に就て

青森市青森幼稚園 今 きよ氏

五、幼児の發育形態に就て

東京市麴町幼稚園 竹内 嘉兵衛 氏

六、本園に於て研究したる運動具に就て

長崎市玉その幼稚園 荒 木 嘉 弘氏

七、幼児教育の特色を發揮せよ

東京市目白幼稚園 和 田 實氏

八、保育に於ける自然研究

大阪市天使保育學校 吉田 源治 郎氏

九、遊戯の材料に就て 仙臺市保育會 三宅 はる氏

午前十時半、閉會式は會長挨拶の後出席者代表として大連市譚家屯幼稚園の小山田節子氏の謝辭あつて大會は全く終り、同十一時より名勝鹽釜、松島方面へ見學の爲出發した。

鹽釜、松島見學

惠れた絶好の秋日和を浴びて、國幣中社鹽釜神社の社前に額つき武運長久國運隆昌を祈願した敬虔なる態度は長く長く忘れぬ思出であらう。尊き神符を推し戴く多くの人

人の心境には如何なる事情心願が秘められてゐるごさか。

千賀の浦二隻の汽船に分乗して、小春日和に照り映える千松島を賞する心地よさは何にも譬へるごさは出来ない。

「あゝ松島や松島や」の句も思ひ出される。松島驛にては瑞巖寺の古刹を訪ひ、五大島、観瀾亭を指願の中に望み、新装を凝せるニューバークホテルの偉觀を最後に上首尾に解散を告げごさゝに二日間に亙る豫定の行事を完全に終了した。

尙今回の大會の開催に際し、左記各位には本大會の趣旨を賛し頭書の金品を寄附せられ多大の便益を與へられた。爰にこれを録して満腔の感謝を表する次第である。

記

寄附芳名

- 一 金貳百圓也 フレーベル館社長 高市 慶雄 殿
- 一 ライオン齒磨及同齒刷牙袋入壹千個
ライオン齒磨本舗 小林 商店 殿
- 一 大封筒 八百枚

東洋圖書株式合資會社 殿

一 特選幼稚園童謡曲集 八百部

大日本雄辯會講談社キングレコード編輯部 殿

○いよゝ今年もおしせまりました。時局下のこの一年間を回顧致しますと吾が保育界も亦誠に多事でございます。併し吾々は今は、保育の進むべき道を掴み得たと思ひます。来る年もまた元氣に緊張して斯の道にいそしみ度いと存じます。皆様御機嫌よく御越年の程祈つて居ります。

○本誌が皆様の雜誌であるやうにと常に心掛けて居りますが、來年もどうぞ今迄どほり、御叱責やら御鞭撻を賜はりましてよりよきものに御はぐみ下さいますやう御願ひ致します。又どうぞごんごん御寄稿下さいますやうに御願ひ致します。

(編輯部)